

平成 25 年度 糸魚川市外国語活動部 活動報告

部長 鹿住 寿和

- 1 研究主題 意欲的にコミュニケーションに取り組む授業の工夫
- 2 活動の概要 5月23日(木) 部長・副部長会 会場; 糸魚川小学校
・平成25年度研修計画立案
11月13日(水) 外国語活動部一斉研修 会場; 大野小学校
・公開授業 ・意見交換 ・指導及びミニ授業

3 活動の実際

(1) 公開授業 6年「Where is a panda? Turn right.」(道案内をしよう)

本時は、動物園での道案内という設定で、挨拶、質問を受けて、「Go straight.」「Turn right. (left)」の道順を説明する学習内容であった。

導入では、参観者との挨拶や児童同士、教師、ALT とのカードゲーム、アクティビティでコミュニケーションを楽しんだ。その後、動物名と対話の方法を繰り返し練習して、本時のアクティビティを行った。

教師の明るい表情や大きな動作、多くの教材を用いたテンポよい学習に促され、児童も明るく、笑顔で取り組んでいた。ALT との連携もよく、学習は切れ目なく、スムーズであった。また、指示や問いかけは、ほとんどが英語とジェスチャーで、これまでの学習の成果がよく表れていた。



(2) 意見交換

多くの参観者から、学級の雰囲気よき、学習の質の高さを称賛する声が聞かれた。男女分け隔てなく、楽しく学習に取り組む児童。何より教師が明るく、児童を認めながら指導することが重要であることを学んだ。ALT との連携についても、教師が授業の指導過程をはっきりさせておくことで、短時間の打合せでも十分に活動できることを学んだ。また、使用した多くの教材は、これまで蓄積したものであることを聞き、教材の重要性も再認識することができた。

(3) 指導およびミニ授業

講師 燕市立松長小学校 教諭 落合 義貴 様



外国語教育に関する国の動向や今後の課題、授業後の評価の仕方など、色々な観点から指導をしていただいた。公開授業で見られた児童と教師の活発な姿、ALT と連携したスムーズな授業の中に課題解決につながるヒントが多くあったことを具体的に指導していただき、評価については資料を示していただいた。

ミニ授業では、工夫された教材が紹介され、それらを用いた授業の進め方や使用方法を学んだ。一部分を隠した資料を提示するだけで、受け手の意欲が高まることを実感し、単調になりがちな語彙の発音練習の変化の付け方を学んだ。短時間ではあったが、多くのことを学んだミニ授業であった。

4 成果と課題

小学校での研修は、新鮮さと刺激があり、日頃の授業を振り返ることができた貴重な時間であった。意見交換で出された、ワークシートを用いるがゆえに児童の視線が合わない授業、単調な活動を繰り返していた授業、文法指導が重点になっていた授業などを打破できるようなヒントと元気をもらい閉会することができた。次年度も、参加者にヒントと元気を与えられる研修、活発な外国語活動、英語科授業が進められるような一斉研修にしていきたい。